学校番号 4 1 5

## 令和4年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名	
			第3学年	「Vivid English Expression II NEW EDITION」	
外国語 英語				「Vivid English Expression II NEW EDITION WORKBOOK」	
	英語表現Ⅱ 2	2 単位		「Zoom English Grammer 27 Lessons Second Edition」	
				Zoom English Grammer 27 Lessons Second Edition WORKBOOK	
				「Zoom ズーム総合英語 Second Edition」 (すべて第一学習社)	

- 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)
  - ・英語表現Ⅱは「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をバランスよく身につけ、活用していく授業である。1,2年時に学んだ文法事項の確認・定着と、引き続き、実際的かつ実用的な英語の使用場面を想定して事実や意見などを整理して論理的に話せるようになること、また他国の文化や生活についての知識を得ることで興味や関心を持ち、更に理解を深めていくことを目標としている。
  - ・授業には主体的に言語活動に参加し、疑問点を質問することが望まれる。
  - ・ペアワークや発表を多く取り入れた授業を展開。間違いを恐れず、積極的な姿勢を身につけていきたい。
- 2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目:「コミュニケーション英語Ⅲ」(3単位)及び「英語表現Ⅱ」(2単位)

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	・ 評 価	学習到達目標	• 科	学習到達目標	· 科 評 目	学習到達目標	• 評 価
・決まった表現や形式を用いて短い会話をしたり、互いに質問応答したりすることができる・事前に準備していれば、自分の考えをリズムやイントネーションに気をつけることができる・日時や場所などの基本的なやりとりができる	評価 ・授業中の活動・パフォーマンステスト科目 ・英 C II・英表 II	・基本を かまいが テルス ラ と ・ 簡 い に る と と 文 で ・ トス グ が 単 い に で き な こと ・ の ま 近 書 ま 近 書 ま 近 書 ま 近 書 ま 近 書 ことが できる こと が できる ことが できる ことが き な く こ ま な く こ ま か に できる ことが き な ことが き な ことが き か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	評価 ・定期テスト・小テスト・課題・授業中の活動科目 ・英 C II・英表 II	・既習の英文や身近 な話題の会話を聞い て、話者の伝えたい ことを理解できる ・ゆっくり話されれ ば対話やアナロンン がら必要なができる ・短い文章やはできる ・短いを聞いて、 要旨をつかむことが できる	評価 ・リスニングテスト・パフォーマンステスト・授業中の活動科目 ・英 CI ・英表 I	・文構造やフレーズなど意味のまとまりに気を付けて音読ができる・基本的な語いや表現で書かれている文章を読み、内容を大まかにとらえることができる・まとまりのある文章を読み、その概要やまなできる	評価 ・授業中の活動・音読テスト・定期テスト・課題科目 ・英 CII・英表 II

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を もち、積極的に言語活動を行 い、コミュニケーションを図 ろうとしているかを的確に評 価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

## 4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法		
Unit 1	21.情報·通信	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」					
基礎編 Lesson21 ~ 22 (各 Lesson 2 時間)	22.社会	各トピックについて ・モデル文に関心を持ち、 読むことができる ・間違いを恐れず,積極的 に表現できる ・積極的にコミュニケーションを図ることができる	例文暗唱や Try It!に ついてペアワーク	各トピックについて ・間違うことを恐れずに対話 をしている ・うまく言えないことがあっ ても、別の語句や表現を使 うなどして対話を継続し ようとしている ・相槌を打ったり質問したり して関心を持って相手の 話を聞いている	・授業中の活動 ・パフォーマンス テスト		
		「外国語表現の能力」					
		・決まった表現や形式を用いて短い会話をしたり、互いに質問応答したりすることができる・自分の考えをリズムやイントネーションに気をつけて述べることができる・日時や場所などの基本的なやりとりができる・基本的な語句や文法、簡単な定型表現を用いて、文章を書くことができる	Try It!についてペア ワーク及びライティ ング	・自らの意見を,適切な表現を用いて伝えることができる ・学んだ文法・表現を使って,文を書いたり話したりすることができる ・自分や与えられた課題について,文章を書くことができる	・授業中の活動 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査		
		「外国語理解の能力」					
		・短い文章や会話のやりと りを聞いて、話者の伝え たいことや要旨をつかむ ことができる	Start Up を使って リスニング	<ul><li>・英文の内容について質問し、正確に答えることができる</li></ul>	・授業中の活動 ・定期考査		
		「言語や文化についての知識	・理解」				
		・各 lesson の文法事項の 用法を理解し、適切に 使うことができる ・様々な場面で用いられ る語彙や表現を習得す る ・日本と他の国々の文化 や習慣の違いを知る	・各 lesson の Check や Exercises、 Workbook の問題 に取り組む ・学習した文法事項 を使って他の追加 練習問題や作文に 取り組む	・左記の問題の理解度	・授業中の活動 ・課題の提出 ・小テスト ・定期考査		

単元					
(配当時	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
間)					
Unit 2	23.天候・天気	「コミュニケーションへの関			
機能編	24.事故・災害	各トピックについて	会話文 についてペ	各トピックについて	・授業中の活動
	25.高齢社会	<ul><li>・モデル文に関心を持ち、</li><li>読むことができる</li></ul>	アワーク	<ul><li>・間違うことを恐れずに対話をしている</li></ul>	・パフォーマンス テスト
Lesson23	26.社会活動	・間違いを恐れず、積極的		<ul><li>・うまく言えないことがあっ</li></ul>	<i>)</i>
Lesson23	27.仕事	に表現できる ・積極的にコミュニケーシ		ても、別の語句や表現を使 うなどして対話を継続し	
~32	28.訪問·招待	ョンを図ることができる		ようとしている	
(各 Lesson	29.進路・将来の夢			・相槌を打ったり質問したり	
1 時間)	30.地理·歷史			して相手の話を関心を持 って聞いている	
	31.旅行・交通	「外国語表現の能力」			
	32.科学	・決まった表現や形式を用い	冒頭の会話文や	・自らの意見を、適切な表	・授業中の活動
		て短い会話をしたり、互い に質問応答したりするこ	Target Sentences, Try It!についてペア	現を用いて伝えることが できる	<ul><li>・課題の提出</li><li>・小テスト</li></ul>
文法の総	1.いろいろな文(1)	とができる	ワーク及びライティ	・学んだ文法・表現を使っ	• 定期考査
復習	2.いろいろな文(2)	<ul><li>・自分の考えをリズムやイントネーションに気をつけ</li></ul>	ング	て,文を書いたり話した りすることができる	
	3.文の型(1)	て述べることができる		・自分や与えられた課題に	
(各 Lesson	4.文の型(2)	・基本的な語句や文法、簡単な定型表現を用いて、身近		ついて,文章を書くこと ができる	
1 時間)	5.現在·過去·未来	な話題についてまとまっ		" (C 2	
	6.現在完了形	た文章を書くことができる			
	7.過去完了形	_			
	8.未来の表現	「外国語理解の能力」			
	9.助動詞(1)	<ul><li>短い文章や会話のやりとりを聞いて、話者の伝え</li></ul>	冒頭の会話文を使っ てリスニング	・英文の内容について質問 し、正確に答えることが	・授業中の活動 ・定期考査
	10.助動詞(2)	たいことや要旨をつかむ		できる	<b>足别</b> 为且
	11.受動態(1)	ことができる			
	12.受動態(2)	「言語や文化についての知識	• 理解		
	13.不定詞(1)	・様々な場面で用いられる	・各 lesson の	<ul><li>・左記の問題の理解度</li></ul>	<ul><li>・授業中の活動</li></ul>
	14.不定詞(2)	語彙や表現を習得する	Exercises	・作文の内容と正確さ	・課題の提出
	15.不定詞(3)	・日本と他の国々の文化や 習慣の違いを知る	Workbook の問題 に取り組む		・小テスト ・定期考査
	16.不定詞(4)	日頃の海いたかの	・学習した語彙や表		上
	17.動名詞(1)		現を使って他の追 加練習問題や作文		
	18.動名詞(2)		に取り組む		
	19.分詞(1)				
	20.分詞(2)				
	21.比較(1)				
	22.比較(2)				
	23.関係詞(1)				
	24.関係詞(2)				
	25.関係詞(3)				
	26.仮定法(1)				
	27.仮定法(2)				

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価		
(配当時間)					方法		
Unit 3	33.環境	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」					
パラグラフ	34.高齢社会	各トピックについて	<ul><li>パラグラフ構成に</li></ul>	・間違うことを恐れずに自分			
ライティン	35.文化・伝統	<ul><li>・モデル文に関心を持ち、</li><li>読むことができる</li></ul>	ついて意見交換な どのペアワーク	の意見を述べている ・うまく言えないことがあっ	・パフォーマンス テスト		
グ編	36.事故・災害	・間違いを恐れず、積極的	・スピーチで自分の	ても、別の語句や表現を使			
(各 Lesson	37.歴史	に表現できる ・積極的にコミュニケーシ	意見を述べる	うなどして対話を継続し ようとしている			
1時間)		ョンを図ることができる		・相槌を打ったり質問したり			
I #4[b])				して相手の話を関心を持 って聞いている			
Unit4		「外国語表現の能力」		プに回いている			
Unit 4 実践編		<ul><li>自分の考えをリズムやイン</li></ul>	<ul><li>スピーチで自分の</li></ul>	・自らの意見を、適切な表	<ul><li>・授業中の活動</li></ul>		
夫歧柵	38.スピーチ	トネーションに気をつけ	意見を述べる	現を用いて伝えることが	・課題の提出		
(3時間)		て述べることができる ・基本的な語句や文法、簡単		できる ・学んだ文法・表現を使っ	・定期考査		
		な定型表現を用いて、身近		て、文を書いたり話した			
		な話題についてまとまっ た文章を書くことができ		りすることができる ・自分や与えられた課題に			
		る   る		ついて、文章を書くこと			
		[ b] [sist ru kn & bk .l		ができる			
		「外国語理解の能力」					
		<ul><li>短い文章を読んで、話者の伝えたいことや要旨を</li></ul>	冒頭の文章や Exercises の文をパ	・英文の内容について質問 し、正確に答えることが	・授業中の活動 ・定期考査		
		つかむことができる	ラグラフ構成を意識	できる	/C/yj." J <u>Li.</u>		
			しながらリーディン グ				
		「言語や文化についての知識	• 理解」				
		・様々な場面で用いられ	・各 lesson の	・左記の問題の理解度	・授業中の活動 空間表本		
		る語彙や表現を習得する	Exercises、の問 題に取り組む	・スピーチの内容と正確さ	• 定期考査		
		・日本と他の国々の文化	<ul><li>学習した語彙や表</li></ul>				
		や習慣の違いを知る	現を使ってスピー チ				